

大川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和2年度(2020年度)実績の検証結果について

【基本目標Ⅲ】

| 基本目標 | 基本的方向 |
|--------------------|---|
| Ⅲ. 大川への新しいひとの流れの創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興・地域交流 ・広域的産業・観光振興の連携強化と拠点づくり ・景観・まち並みの保全 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口・関係人口の増加に向け、地域資源の発掘・情報発信・受入体制の整備に努め、産業観光を推進する。 ・「大川の駅」計画を推進し、市のインテリア及び観光産業の活性化、「環有明海地域」全体の経済浮揚に取り組む。 ・市内に点在する自然・歴史的資源を保全し、観光資源としての活用を推進する。 |

| 事業内容 |
|--|
| <p>■観光資源の発掘・情報発信・受入体制の整備</p> <p>・マイスターツーリズム推進事業 ※地方創生推進交付金事業の検証結果を参照</p> <p>家具・組子をはじめとするモノづくりや職人を本市固有の観光資源として活用する産業観光を推進する。大川テラツツアを情報の発信拠点及び受入窓口として整備し、市内周遊・買い物・飲食のコンシェルジュ機能を高め滞在時間の延長や観光消費額アップに繋げる。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客数は大きく減少している。</p> <p>■「大川の駅」計画の推進</p> <p>「大川の駅」の整備推進に向けて、国や県、市内の関係団体から推薦された者で構成する「大川の駅」整備推進協議会を令和2年7月に設立し、同協議会検討部会並びに市関係課で構成する「大川の駅」整備推進プロジェクト会議等の意見を踏まえながら、基本理念や事業コンセプト、事業プラン等を設定し、導入機能や施設規模を想定した上で、基本的なゾーニングを踏まえ、各施設間の動線を考慮したイメージパース等を記載した「大川の駅」全体計画を策定した。</p> <p>■自然・歴史的資源の保全及び活用</p> <p>・街なみ環境整備事業：499千円</p> <p>R2年度の小保・榎津地区の建築物等に対する修理・修景補助については、予定していた建築物の所有者の意向により中断となったが、啓発活動の一環として、新たに街なみ形成ガイドラインの作成を行った。</p> <p>・旧吉原家住宅管理運営事業：7,298千円</p> <p>8月20日(木)、23日(日)「あつま袋づくり」ワークショップ 参加者数20名</p> <p>9月12日(土)、13日(日)「苔玉づくり」ワークショップ 参加者数20名</p> <p>10月11日(日)、14日(水)「ソープカービング」ワークショップ 参加者数20名</p> <p>10月20日～25日(日)「吉原正俊ビルマ戦中記展」参加者数281名</p> <p>11月10日(火)～15日(日)「森田篤 木版画・絵画展」参加者数291名</p> <p>12月3日(木)、6日(日)「フラワーアレンジメント正月飾り」ワークショップ 参加者数20名</p> |

| KPIの達成状況 |
|---|
| <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光入込客数・施設来場者数共に目標値を大きく下回った。</p> |

| 課題 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント実施による集客は困難な状況である。 ・小保・榎津地区(旧柳河藩・旧久留米藩の藩境のまち)における歴史的な町並みを構成する伝統的建造物等やそれに準じた建築物等の修理・修景 |

| 今後の方針 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の収束後に向けた施策として、ホームページやSNSを活用した情報発信や観光のデジタル化を進めていく。 ・令和3年度から「大川の駅」道の駅(広域的地域振興拠点機能を含む)基本計画の策定に着手しながら、事業手法の検討やサウンディング調査、かわまちづくり計画に必要な実証実験の実施、用地取得の準備等を同時並行しながら進め、また、国・県等の関係機関とより具体的な協議を重ねていく必要がある。 ・伝統的建築物等の老朽化などの課題があるため、修理・修景補助事業を行い、歴史的町並みの景観保存に努める。また、イベントを実施するなどして、文化財に対する意識高揚に努める。 |

| KPI | 策定時の現況値 ⇒R6年度目標値 | R2年度 (2020年度) | R3年度 (2021年度) | R4年度 (2022年度) | R5年度 (2023年度) | R6年度 (2024年度) |
|--------------------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 観光入込客数 | 781,000人 ⇒925,000人 | 調査実施なし | 395,000人 | | | |
| 筑後川昇開橋通行者数(テラツツア含) | 75,864人 ⇒100,000人 | 調査実施なし | 55,122人 | | | |
| 旧吉原家住宅の年間入館者数 | 4,412人 ⇒10,000人 | — | 1,425人 | | | |

| 検証委員会からの意見等 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で観光客は減少しているが、木工体験や家具探しはネットを活用すれば疑似体験(VR)が可能なので、商圈・市場を拡大するのに有効。 ・2021年5月に全体計画が策定・公開されていますが、今後も進捗を定期的に一般公開されるのでしょうか？ 完成まで興味をもってもらう(ワクワク感をもつ)には有効かと思えます。 |